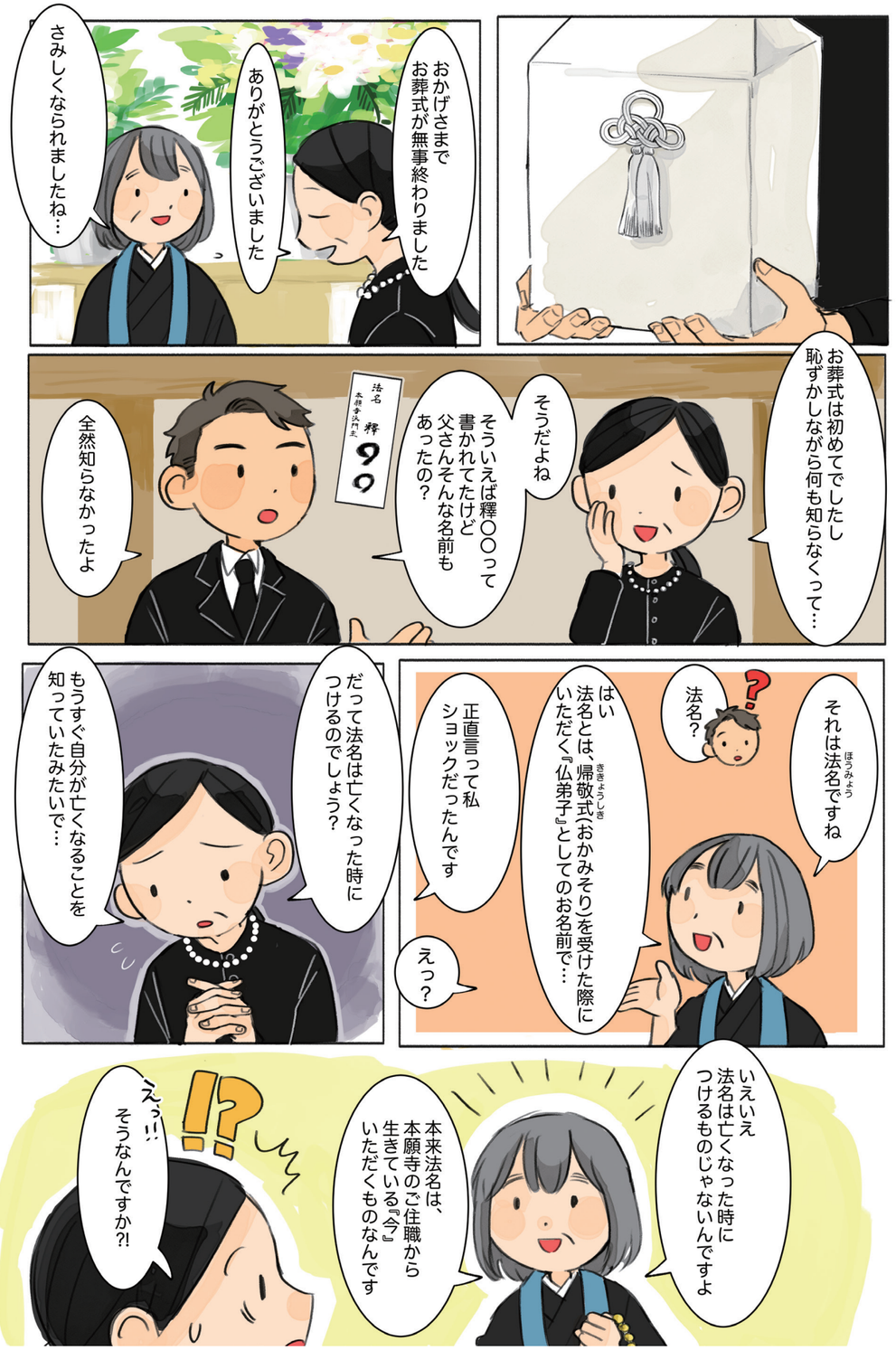
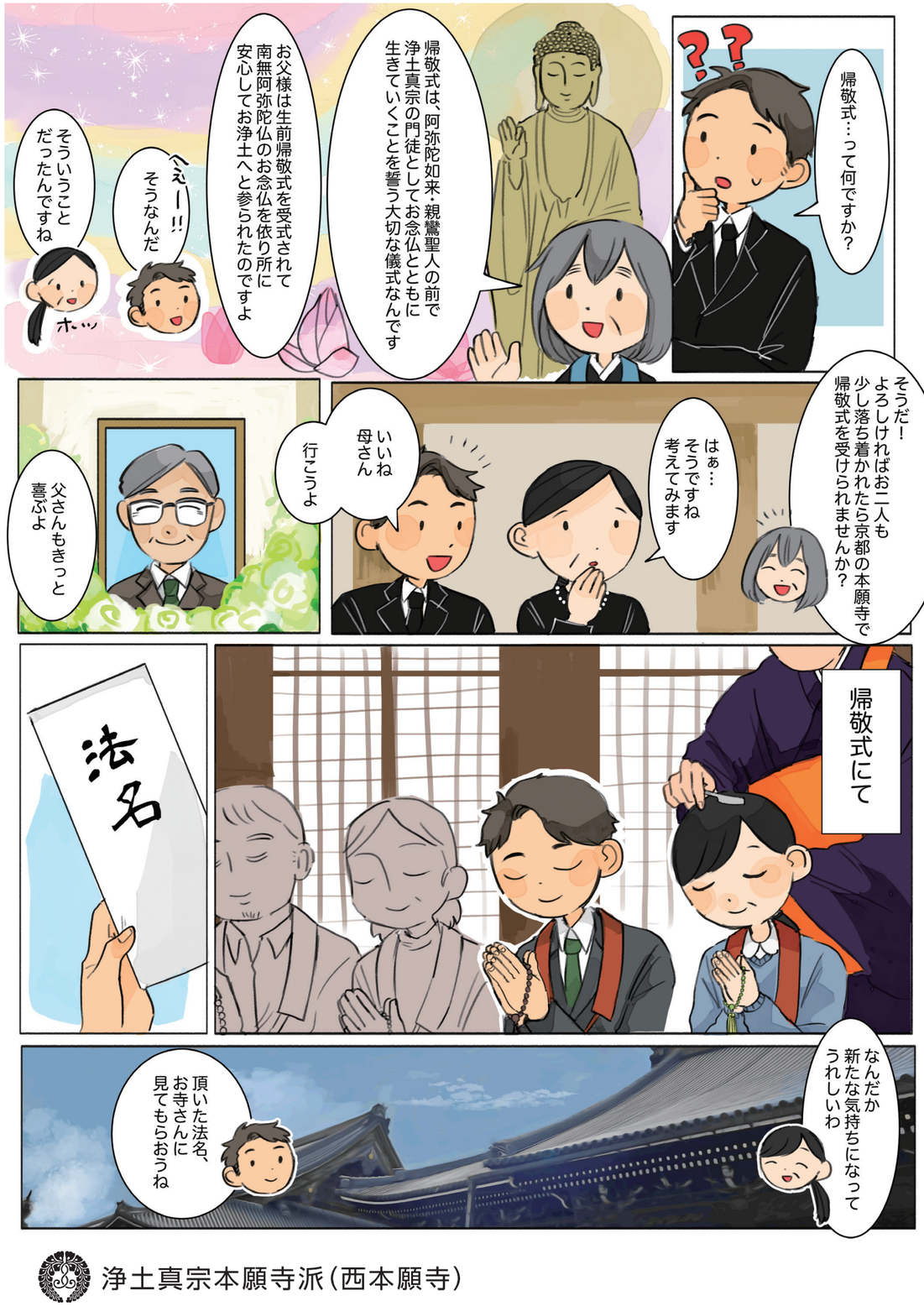
帰敬式のすすめ

法名と帰敬式



ポスターのデータはホームページに掲載しています

つながりの中で生きている



浄土真宗本願寺派（西本願寺）

法名と帰敬式

■法名（ほうみょう）～門徒としての自覚～

法名（釋（しゃく）〇〇）は、亡くなった時に住職・僧侶につけてもらう名前と思っておられませんか？

法名とは「『いのち』を授かっている私が、帰敬式（きょうしき）という儀式を受式し、浄土真宗の門徒として、自覚を新たにして、今を生きるためにいただく大切なお名前です」とお伝えすると、多くの方が驚かれます。

私はなぜ、浄土真宗とご縁をいただいて「門徒（もんと）」となるのでしょうか。なかには自ら浄土真宗を選んだ方もいらっしゃいますが、「昔から、うちは代々」と言う方もおられます。しかし、考えてみると「昔から、うちは代々」とは、先祖の誰かが浄土真宗と深いご縁があったということです。その誰かはわからなくても、浄土真宗の教えに触れ、その有り難さを感じたからこそ「門徒」になられたのです。そして、その思いを受け継いでいった方がたがおられたから、今、私が浄土真宗の「門徒」なのでしょう。表現をかえれば、「阿弥陀さま、親鸞聖人の願いが多くの方がたを通して私に届けられている」と言うことができます。

そのことを、ぜひ帰敬式を受式されて、感じていただければと思います。

■帰敬式（きょうしき）（おかみそり）

帰敬式とは、原則として本願寺で阿弥陀さま、親鸞聖人の御前（おんまえ）でご門主から「おかみそり」という授かる厳粛な儀式です。「釋〇〇」という２文字の法名をいただき、法名の「釋」の文字はお釈迦さまのお弟子だということです。

仏教徒として、浄土真宗の「門徒」として、私がお名前をいただきます。立派な仏教徒、立派な「門徒」になって受式するのではありません。私に届けられた大切な願いを聞いていこうというスタートラインに立っていただくための大切なご縁です。

一人でも多くの方が「帰敬式」を受式され、浄土真宗の門徒、親鸞聖人につらなる朋（ともがら）（なかま）、「御同朋（おんどうぼう）」である自覚を新たにし、今後の人生を「念仏者」として大切にあゆんでいただきたいと思います。

帰敬式受式のお申込みは、本願寺参拝教化部帰敬式係（℡075-371-5181）
もしくは、本願寺公式ホームページ「お西さん」からお申し込みください。
https://www.hongwanji.kyoto/visit/application.html

法名をいただかれた方に、法名入り名札を頒布いたしております。
お申し込みは、宗派公式Webサイト内「仏事奨励」ページ お知らせ欄をご覧ください。
https://www.hongwanji.or.jp/jiin/shourei.html